



看護学科

渋谷 えり子 准教授

【研究分野】
【キーワード】
【U R L】看護代替療法、ハンドマッサージを活用したセルフケアや介護支援
ハンドマッサージ、リラクゼーション、介護支援、コミュニケーション
<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=112shibu>

ハンドマッサージの活用

研究概要

患者への安楽なケア提供のために、意図的タッチやハンドマッサージなど看護技術の研究を行っています。これら看護技術を看護教育に生かす工夫や、一般の方々の活用方法についての研究を進めています。また、触れるケアとしてのハンドマッサージについて共同研究を実施しています。

研究紹介

1. 看護技術としてのハンドマッサージの活用に関する研究

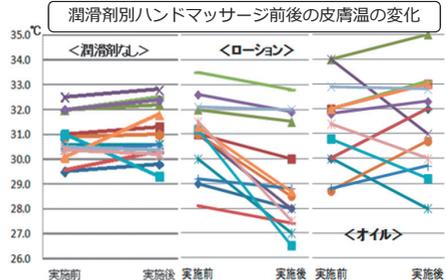
リラクゼーション効果や患者との関係形成にも効果のあるハンドマッサージの看護基礎教育方法に関する研究。
(潤滑剤別ハンドマッサージの皮膚温の変化)

2. セルフハンドマッサージに関する研究

女性を対象に、セルフハンドマッサージを実施し、その効果としてのリラックス度やストレス度に関する研究。

3. ハンドマッサージを取り入れた認知症高齢者を介護する家族支援プログラムの開発

病院や施設では、認知症患者との関係性維持にタッチやハンドマッサージが活用されている。在宅で介護している家族が効果的なハンドマッサージを実施できるような教育プログラムを構築するための研究。



セルフハンドマッサージ (一部抜粋)



講座テーマ紹介

- 更年期女性を対象としたハンドマッサージやストレス緩和に関連した健康講座
- 高齢者の介護に関連した家族のための講座 など

アピールポイントなど

埼玉県看護協会教育委員や看護協会主催の研修会講師など担当してきました。研究は、ハンドマッサージの活用についての研究を続けており、その結果を活かしてハンドマッサージやアロマを活用したセルフケアについての健康教育を行ってきました。今後は家族の介護をしている方に、ぜひハンドマッサージの活用を知ってほしいと思います。家族介護の講座、研修会など協力させていただきますので、よろしくお願ひします。